

## 第17回ダイバーシティ推進委員会を開催

2024年7月11日



(株)日立製作所 Deputy CDEIO  
Ana Vasquez Maya 氏



質疑応答・意見交換の様子

7月11日、第17回ダイバーシティ推進委員会（座長＝本山ふじか・住友商事(株)サステナビリティ・DE&I推進グループ長付 DE&I推進室長 兼 HR企画戦略部 組織開発チーム長）を開催しました。(株)日立製作所 Deputy CDEIO Ana Vasquez Maya 氏を講師にお招きし、「ビジネスドライバーとしてのDEI」と題してご講演いただいた後、商社3社（住友商事(株)、丸紅(株)、兼松(株)）よりDEI推進の事例紹介を行いました。

今回は、本委員会で初の試みとなるオールイングリッシュでの会合開催としました。Zoomの翻訳機能も活用した上で、オブザーバー含め60名を超える方々にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

開催後のアンケートでは、多くの参加者から高評価をいただいた一方で、オールイングリッシュ会合ならではの課題も寄せられました。今回の経験や頂戴したご意見をより良い会合運営に活かしてまいります。

<ご講演要旨（日立での取り組み）>

- 日立は「お互いの個性を尊重し、大切にします」というビジョンの下、全事業に共通する3つのグローバルDEIトピック（ジェンダー、文化、世代）と、各地域と共に2つのトピック（LGBTQIA+、障がいおよびニューロダイバーシティ）に対して重点的に取り組んでいる。
- 具体的な取り組み事例は以下の4点

- ① KPI の設定（2030 年までに役員層の女性比率および日本人以外の比率を 30% に）
- ② DEI がビジネスに与える影響を認識し、心理的に安全な職場環境を作り出せるリーダーの育成
- ③ バイアスを認識し対処するための DEI トレーニングの提供
- ④ 職場でのインクルーシブな行動を支援するツールキットの展開

<参加者の声>

- ◆ グローバルベースで DEI 推進の先進な取り組みをしている企業の話を知ることができ、新たな視点や気づきを頂く機会となった。
- ◆ Ana さんのプレゼンがとてもわかりやすかった。上位職者にこのような方がいると社内・社外ともに空気が変わり、認識が変わり、行動が変わるのだろうと思った。
- ◆ 発言と翻訳のスピードが違うため、話を聞きながら翻訳を読むのは結構難しい。
- ◆ （オールイングリッシュの会合は）非常にチャレンジングな取り組みだが、新たな扉が開いた感じがする。

【本件担当・問い合わせ先】  
一般社団法人日本貿易会  
政策業務第三グループ